

Ticket

チケットぴあにて8/10[土]より発売開始!
チケットは事前購入をおすすめします。
当日会場窓口では、座席が選べません。

8月中旬に
「早割券」
を買えばお得!!

上映2時間前まで、
チケットぴあで
購入可能!

学生500円券も
今年は
事前に買える!
※当日、学生証の提示が必要

《全席指定席》

	チケットぴあ		当日会場窓口 (上映30分前から) ※座席は選べません
	早割券 (8/10~31)	9月券 (上映2時間前まで)	
一般/シニア	PFFアワード2019	¥600	¥800
	招待作品部門 (『映画のコツ』『東京裁判』を除く)	¥1,000	¥1,500
	PFFスペシャル講座「映画のコツ」 『東京裁判』	¥800	¥1,000
大高生/小中生 キャンパスメンバーズ 障害者	PFFアワード2019	¥500	
	招待作品部門(『東京裁判』を除く)	¥500	
	『東京裁判』	¥1,000	¥1,000

※チケットぴあで完売した場合、当日会場窓口での販売はありません。
※会場入場時、学生、国立映画アーカイブのキャンパスメンバーズ、障害者の方は、証明できるものをご提示ください。
(障害者の介添者は原則1名まで障害者と同料金)

〈チケット購入場所〉

チケットぴあ 販売期間:8/10~上映の2時間前まで
[コード:550-252]

・発券手数料、システム手数料は、一切掛かりません。
・チケットの払い戻し、交換、再発行はいたしません。
・チケットは必ず発券して会場までお越しください。会場では発券できません。

QRコード:

pia.jp/t/pff/

	インターネット購入	ぴあのお店	セブンイレブン
座席の指定	指定できる	指定できる	指定できない
手数料	¥0		

当日会場窓口 販売期間:上映30分前~開映時間まで

・チケットぴあで完売した場合、会場窓口での販売はありません。
・座席は選べません。各回1名につき、1枚のみ販売。
・当日券購入時、ぴあカードの提示で、一般/シニア料金より100円割引します。
・当日券の情報は、上映の2時間前までチケットぴあで確認することができます。(pia.jp/t/pff/)
・窓口での販売は上映がスタートすると終了します。

〈会場〉

国立映画アーカイブ
National Film Archive of Japan

会場アクセス▶銀座線「京橋駅」1番出口より昭和通り方向へ徒歩1分▶
浅草線「宝町駅」A4出口より中央通り方向へ徒歩1分▶有楽町線「銀座一丁目駅」7番出口より徒歩5分▶JRI「東京駅」八重洲南口より徒歩10分

「速報!」 「PFFアワード2020」作品募集!

2020年2月~3月下旬で受付予定。
映画ができれば、ぜひPFFにご応募ください!

主催 PFF 一般社団法人PFF | 国立映画アーカイブ National Film Archive of Japan | 公益財団法人 川喜多記念映画文化財団 | UNI JAPAN 公益財団法人ユニジャパン

オフィシャルパートナー ぴあ | ホリプロ | NIKKATSU | dentsu | Hakuholdo DY media partners

特別支援 一般社団法人 日本映画製作者連盟

オフィシャルTOPサポーター 三菱地所

オフィシャルサポーター スカパー! | 住友不動産 | SEGA Sammy | セン＆アイ HLDGS.

特別協賛 朝日新聞 | Internet Initiative Japan | ULSYSTEMS INC. | NTT ぷらぷら | TOKYO FM | FMBQ2

GAGA | KLOCK WORK | KDDI | STAR BS10 | 東京テアトル株式会社 | TOKYO MX

TOPPAN | FamilyMart | SMBC 三井住友カード | MUFG 三菱UFJニコス

協賛 CONCENT | SUNDAY FOLK PROMOTION SINCE 1983 | Ustream | シネマトゥデイ | SPACE SHOWER | CINEMORE | DISK GARAGE

tv asahi | TV TOKYO | KOGEI | TOHAN | NEC | ニッポン放送 | パナソニック映像株式会社

フジテレビジョン | 文化放送 | PONY CANYON INC. | 夜景検定 | ROBOT | W.Q.W.O.W

賛助 アテネ・フランセ文化事業(株) / (株)伊藤園 / (株)IMAGICA Lab. / エイベックス・ビジュアル(株) / キングレコード(株) / クエストルーム(株) / (有)スタンス・カンパニー / チケットぴあ九州(株) / チケットぴあ名古屋(株) / (株)夏への扉 / 日本映画放送(株) / (株)パップ / (株)PIVOT / フィルミネーション(株) / (有)プレス / (株)マンハッタンビーブル

後援 NPO法人映像産業振興機構(VIPO) / 協同組合日本映画監督協会

第41回 ぴあフィルムフェスティバル

PIA FILM FESTIVAL



2019.9.7 [土] ▶ 21 [土] 国立映画アーカイブ (京橋) ※月曜休館

A PFF Award 2019 9/ 7 [土] 11:00~
9/13 [金] 16:00~

子どもの目に映る銭湯の、摩訶不思議な世界へようこそ

『くじらの湯』 7分

監督:キヤマミズキ

母親に連れられ銭湯へ行く子どもの体験を、色鮮やかに描いた短編アニメーション。扉を開ければ湯気の向こうに広がる非日常的で奇妙な世界。近所の銭湯も、子どもの頃にはこんな魔法の世界のように見えていたのかも。

元カノと寄り戻したい…! 愛と執着の30日間

『アボカドの固さ』 96分

監督:城 真也 じょう・まさや

5年間付き合った恋人に別れを告げられるも、どうにかやり直したい前原。言動一つ一つがとてもしリアルで、この町のどこかに生きているような主人公の未練も恥も隠さぬ怪演が見どころ。空回りする復縁作戦の行方は…?

B PFF Award 2019 9/ 7 [土] 18:00~
9/12 [木] 12:30~

新婚旅行の親密さが描きだす大切な家族への愛の物語

『温泉旅行記 (霧島・黒川・嬉野)』 24分

監督:佐藤奏太 さとう・そうた

監督自身がカメラを持ち、自らの新婚旅行を記録した日記映画。道程、旅館の食事、訪れた観光名所が淡々とした映像とモノログで語られる。にじみ出る亡き祖母への想いと妻への愛に、これほど心動かされる不思議。

世界一タフな25歳! 普通でスーパーなヒロイン現わる!

『スーパー・ミキンコリニスタ』 101分

監督:草場尚也 くさば・なおや

役者志望のミキンコリニスタは、情熱はあるけど先の見えないエキストラ俳優。どこにでもいそう、だけどやっぱり誰にも似てない彼女は間違いない“スーパー”ミキンコリニスタ! その一挙手一投足に誰もが虜になる!

E PFF Award 2019 9/11 [水] 12:30~
9/15 [日] 18:15~

観客の不快感を掻き立てる、役者たちの迫真の演技!

『泥濘む』 25分

監督:加藤紗希 かとう・さき

姉が家に戻ると、妹が拾ってきた若い男女が住み着いていた。お人好しの妹は追い出せず、事態はエスカレート。予想もつかない展開へ…! 自らも俳優である監督が役者たちの魅力を引き出した、心をざわつかせる悲喜劇。

人との出会いの魅力があふれる旅するドキュメンタリー

『フォルナーリヤの聖泉』 26分

監督:桑山 篤 くわやま・あつし

失恋の傷を癒すため、ポルトガルの伝説であるフォルナーリヤの聖泉へ! 道中で出会う人々から引き出される恋愛や人生、映画についての魅力的なエピソードたち。自らに向き合いながら外の世界へ飛び出すロードムービー。

F PFF Award 2019 9/ 8 [日] 10:30~
9/12 [木] 16:00~

自転車に魂が宿る! シュールで奇妙なある夜の物語

『自転車は秋の底』 34分

監督:達 真平 つじ・しんぺい

突然、無人の自転車に追われる男。そこから離れた場所で、奇妙な物体に遭遇する女。魂の宿った自転車の描き方がなんと絶妙! これはホラー? 青春映画? 自転車と男女の不思議な物語が観る人の想像力を刺激する。

音と映像のカラーージュで切り取る少女と時代の今現在

『東京少女』 8分

監督:橋本根大 はしもと・ねびろ

2019年1月、もうすぐ1つの時代が終わる。初めて元号の変わり目を迎える“わたし”が眼差す、“わたし”と切っても切り離せない“時代”の断片を集めた短編。猛スピードのモノログと映像で駆け抜ける8分間!

コンペティション部門

PFF Award 2019

PFF 検索

PFFアワード2019

PFFアワードは自主映画のためのコンペティションです。誰に頼まれもせず、自主的に、オリジナルなアイデアを映画に昇華させる。このことに心血注いだ18作品が揃います。会場で観客賞に投票するのは、あなたです! 9/21 [土] 受賞作品上映あり!

※上映後、来場監督を迎えるトークあり。

- 〈PFFアワード各賞〉※2018年実績
- グランプリ (副賞100万円)、準グランプリ (副賞20万円)、審査員特別賞 (副賞10万円/3作品)、映画ファン賞 (ぴあベスト賞)
 - エンタテインメント賞 (ホリプロ賞)、ジュムストーン賞 (日活賞)
 - 観客賞、特別設置:ひかりTV賞

C PFF Award 2019 9/ 8 [日] 14:15~
9/13 [金] 12:30~

クマのぬいぐるみで描く、家族にしかわからない感覚

『何度でも忘れよう』 10分

監督:しばたかひろ

不安定なママと2人で森に暮らす、クマのぬいぐるみ。たとえ傷つけられても、何度でも一緒に食事をし、腕の中に戻る。断片的に描かれるクマの生活から、幸せや痛み、様々な感覚を想像させる詩的なアニメーション。

異色のふたりの旅を丁寧に描いた美しいロードムービー

『ビューティフル、グッバイ』 113分

監督:今村瑛一 いまむら・えいち

人を刺した男と、恋人にゾンビとして蘇らされた女。追っ手から逃れるための逃避行で、心を通わせてゆくふたり…旅はどこで終わるのか。忘れられない大切な瞬間の数々が、美しい映像とともに心に焼きつく。

D PFF Award 2019 9/10 [火] 12:30~
9/14 [土] 17:45~

瑞々しい言葉がちりばめられた、新感覚の友情物語!

『散歩する植物』 35分

監督:金子由里奈 かねこ・ゆりな

“植物になりたい”奏子は、ある日植物園で航と出会う。やがて航には根っこが生えてきて…ふたりの奇妙な友情は言葉によって築かれる人間関係を超えてゆく!印象的な言葉と映像で不思議な世界に惹き込まれる作品。

まだ見ぬ観客はどこにいる? 遙か宇宙にも!

『おばけ』 60分

監督:中尾広道 なかお・ひろみち

一人で自主映画をつくり続ける監督と、彼を見守るはるか宇宙の星たち。誰も知らないささやかな映画制作の過程は大きな宇宙へとつながってゆく。手作りの宇宙にときめき、映画への愛に胸が熱くなるロマンチックな作品。

G PFF Award 2019 9/10 [火] 16:00~
9/15 [日] 11:45~

家族は大切、でもモヤっとする。高校生の繊細な感情

『めぐみ』 34分

監督:道岡円香 みちおか・まどか

美大を目指す高校生めぐみ。母とその再婚相手と暮らし、時々は上京した父にも会う。自分が“めぐまれている”と頭で分かってぬぐえない、少女の複雑な気持ちを丁寧に描いた作品。彼女の感情が爆発する瞬間は必見!

バイクに乗って、ひたすら走る。いつかと同じように

『OLD DAYS』 54分

監督:末松暢茂 すえまつ・のぶしげ

久しぶりに再会したかつての暴走族仲間。死んでしまった仲間のバイクで、あの日のように路上へ飛び出す! 過ぎてしまった時間と変わらない友情。若者じゃないけど、紛れもない青春映画! リアルな暴走描写も見どころ。

H PFF Award 2019 9/11 [水] 16:00~
9/14 [土] 11:00~

雨が降る日も家に居られない子どもたちは、どこへ?

『雨のやむとき』 28分

監督:山口優衣 やまぐち・ゆい

それぞれに家庭の問題を抱える中学生の里佳子と航汰。家庭にも町にも居場所がないふたりは友達になり、河川敷という居場所を見つけるが…大人の世界に振り回される孤独な子どもたちの感情に丁寧に寄り添った作品。

透明人間を通じて言葉と視覚のすれ違いを描く野心作

『そんなこと考えるの馬鹿』 45分

監督:田村将章 たむら・まさあき

大好きないこのアキオが住む家へ遊びに来た夏子。アキオにしか見えなかった透明人間のおばあちゃんの姿が見えた時、2人は同じ世界を共有できるのか? いま自分が見ている世界の常識や当たり前が揺らぐ一作!

今年も、映画祭初日9/7 [土] から同時配信します! aoyama-theater.jp/feature/pff
映画配給会社ギャガが運営する、動画配信サイト「青山シアター」にて、PFFアワード2019入選作品を配信します。



1 劇場版『ガンダム GのレコンギスタI』特別先行上映

9/14 [土] 13:30~ 特別先行上映

ガンダム40周年記念! ついに PFF が富野由悠季総監督をお迎えし、上映後にはトークも実現。映画創造の核心に迫る刺激的な時間がやってきます。

劇場版『ガンダム GのレコンギスタI』
「行け! コア・ファイター」

2019年/日本/カラー/96分
総監督: 富野由悠季



トークゲスト:
富野由悠季総監督



© 創造・サンライズ

招待作品部門

※ 35mm マーク記載以外の作品は、すべてデジタル上映です。

PFF

検索



Invited Works

今年の招待作品部門は、PFF史上、最高に多彩で濃厚なプログラムになりました!
上映作品は長編短編あわせておよそ40本! どれをご覧になっても驚きと発見と感動がやってきます。
ここではごく短いプログラム紹介になりますが、公式サイトには詳細を掲載しておりますのでご参照ください。

2 凄すぎる人たち

凄! としか言葉が出てこない映画を集めました。

〈カッコいい女編〉

トークゲスト:
イアン・トーマス・アッシュ監督
今田かおる医師



在宅終末医療に
取り組む女性医師チームが
美しく、優しく、凄!

『おみおくり
~Sending Off~』

2019年/日本/カラー/77分
監督: イアン・トーマス・アッシュ



© Ian Thomas Ash

9/14 [土] 12:00~ 小ホール / 9/18 [水] 14:00~

追悼・ジョスリーン・サアブ。
ベイルートを映画に遺す、
このアイデアが凄!

『昔々ベイルートで』

1994年/レバノン、フランス、ドイツ/
カラー、モノクロ/104分
監督: ジョスリーン・サアブ



© Nessim Ricardou-Saab

9/15 [日] 11:00~ 小ホール / 9/18 [水] 16:30~ 日本初上映

命懸けでマフィアを
撮り続けて半世紀。
この女性写真家が凄!

『シューティング・マフィア』

2019年/アイルランド、アメリカ/
カラー、モノクロ/94分
監督: キム・ロンジノット



© Shobha Courtesy of Lunar Pictures

〈諦めない男編〉

上映前トーク 宣伝マンに聞く!
「フリードキン監督との闘い」

9/10 [火] 19:00~



追い詰められた男たちの
手に汗握る地獄の連打が凄!

『恐怖の報酬』

【オリジナル完全版】

1977年/アメリカ/カラー/121分
監督: ウィリアム・フリードキン
© MCMXXVII by FILM PROPERTIES
INTERNATIONAL NV. All Rights Reserved.

9/13 [金] 19:00~



不条理な恐怖を描く映像センス。
デビュー作でのこの挑戦が凄!

『変態村』

2004年/ベルギー、フランス、
ルクセンブルク/カラー/94分
監督: ファブリス・ドゥ・ヴェルツ
© 2004 LA PARTI PRODUCTION, THE FILM, TARANTULA

9/19 [木] 13:30~



「平和を裁く裁判」の
驚きを映像化できた、
巨匠・小林正樹が凄!

『東京裁判』

4Kデジタルリマスター版
1983年/日本/モノクロ/277分(休憩あり)
監督: 小林正樹

9/19 [木] 19:00~



華麗なモリコーネのテーマ曲に
乗った、この狂気が凄!

『殺しが静かに
やって来る』

1968年/イタリア、フランス/カラー/102分
監督: セルジオ・コルブッチ
© Adolphia/Les Films Corona/Beta Film 1968

9/8 [日] 11:15~ 小ホール



『私はあなたの
ニグロではない』

2016年/アメリカ、フランス、ベルギー、
スイス/カラー/93分
監督: ラウル・ベック

ジェームズ・ボルドウィン、マルコム X、
マーティン・ルーサー・キング・Jr. など、
アメリカ史を体感する話題作。

9/8 [日] 18:15~

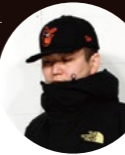


『DOPE / ドープ!!』

2015年/アメリカ/カラー/103分
監督: リック・ファムイーワ

LAで生まれたヒップホップオタクの青春
ストーリー。上映後は、DJ YANATAKE
を迎え、この映画の音楽を更に楽しむ
時間を実現します。

© 2015 That's Dope, LLC.
All Rights Reserved.



トークゲスト: DJ YANATAKE

4 巨匠たちのファーストステップ Part4

~長編デビュー作大集合~

トークゲスト: ヤン・イクチュン監督

9/7 [土] 16:30~ 小ホール



ヤン・イクチュン 監督

『息もできない』

2008年/韓国/カラー/130分

製作・監督・脚本・編集・主演したヤン・
イクチュンが来日。究極の自主映画が
巻き起こす感動!

© 2008 MOLE FILM All Rights Reserved

9/14 [土] 14:30~ 小ホール



ジャ・ジャンクー監督

『一瞬の夢』

1997年/中国、香港/カラー/108分

ベルリン国際映画祭で2冠達成! ジャ・ジャン
クーの名を世界に轟かせた衝撃作。

© Hu Tong Communication

9/15 [日] 14:30~



ルキーノ・ヴィスコンティ監督

『郵便配達は二度ベルを鳴らす』

デジタル修復版

1942年/イタリア/モノクロ/126分

上映禁止処分! 反ファシズムと愛の力強さを
描く、ヴィスコンティの原点がここに。

© 1943 LCI Industrie Cinematografiche Italiane. © 1987 Marzi Vincenzo.
© 2004 MARZI Srl. All rights reserved. International Sales VIGGO Srl.

9/17 [火] 14:00~



ルイ・マル監督

『死刑台のエレベーター』

ニュープリント版

1958年/フランス/モノクロ/92分

スタイリッシュ! マルス・デイヴィス、初めての
映画音楽も伝説に。

© 1958 Nouvelles Editions de Films

3 ブラック&ブラック

~映画と音楽~

ブラック映画とブラック音楽にこだわった、
新企画です。

9/11 [水] 19:00~



『真夏の夜のジャズ』

1959年/アメリカ/カラー/85分
監督: ハート・スターン

伝説の傑作がスクリーンに! 上映後は、
ピーター・バラカン氏を迎え、ジャズぞし
てブラックミュージックを更に楽しむ時間
を実現します。



トークゲスト: ピーター・バラカン

9/12 [木] 19:00~ / 9/21 [土] 11:45~ 日本初上映



バリー・ジェンキンス監督

『メランコリーの妙薬』

2008年/アメリカ/カラー/88分

『ムーンライト』『ビル・ストリートの恋人
たち』のバリー・ジェンキンス、幻のデ
ビュー作をプレミア上映! Medicine for
Melancholyを原題とするこのラブス
トーリーは、レイ・ブラッドベリーの同名短
編小説に捧げられているという。

Photo by David Bornfriend

9/17 [火] 16:30~



ジャック・ドゥミ監督

『ローラ』

2Kレストア版

1960年/フランス/モノクロ/88分

「ヌーヴェル・ヴァーグの真珠」と讃えられる
長編デビュー作。恋と青春がきらめく!

© mathieu demy 2000

9/17 [火] 19:00~



ライアン・クーグラー監督

『フルートボール駅で』

2013年/アメリカ/カラー/85分

サンダンスに走った衝撃! 『クリッド チャンプ
を継ぐ男』『ブラックパンサー』はこの監督。

© 2013 OG Project, LLC. All Rights Reserved.

9/18 [水] 19:00~



レオス・カラックス監督

『ボーイズ・ミーツ・ガール』

1983年/フランス/モノクロ/104分

「ゴダールの再来」「恐るべき子供」と世界が
熱狂! カンヌ映画祭ヤング大賞受賞。

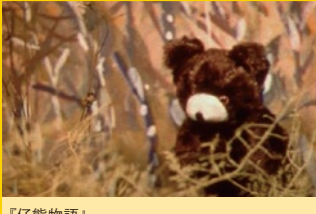
35mm

9/7[土]13:45～ 小ホール
「テラダモケイピクチャーズがついにスクリーンに!」



“真剣にバカなことをやる、ことからしか生まれない(何か)を可視化する”
建築家でありプロダクトデザイナーの寺田尚樹氏が生み出した紙製の1/100建築用模型「テラダモケイ」。ピンセットとカッターを用いた緻密な組み立てを必要とするこの模型が映画に! 寺田氏をお招きしその発想と実践の秘密を伺い映画のコツを掴む!

9/8[日]17:00～ 小ホール
「日本のゴダール? 伝説の8ミリ作家、中山太郎傑作選」



1917年、福岡に生まれた中山太郎は、映画監督の夢を諦め、家業の医業を継いだものの、自宅の一部をスタジオに改造し、8ミリそして後年には16ミリの多彩な自主映画をつくり続けた。ナビゲーター松本圭二氏(フィルム・アーキヴィスト&詩人)が、発見された中山太郎作品から、厳選した4本を解説しながら上映します。
(協力:福岡市総合図書館)

6 カンヌ映画祭批評家週間って何?

映画祭最終日の小ホールは、3つのプログラムでこの問いに答えます。

トークゲスト: レオ・ソエサント

9/21[土]11:00～ 小ホール プログラム①
9/21[土]13:30～ 小ホール プログラム②+ゲストトーク

2019年批評家週間 **日本初上映**
短編コンペティション部門
※上映作品リストは公式サイトをご覧ください。

世界中から集まった9作品を日本初上映。プログラム②上映後には、「カンヌにおける「新しい才能」とは?」をテーマに、カンヌ映画祭批評家週間プログラマーの一人レオ・ソエサント氏をお迎えしてお話を伺います。

『Tuesday From 8 to 6』

5 PFFスペシャル講座
「映画のコツ」

映画に必要なことって何?
この難問に答えるべく、
映画のコツを伝える企画です。

9/15[日] 13:30～ 小ホール
原恵一監督と橋口亮輔監督が映画の神髄を探るシリーズ
「天才・木下恵介は知っている:その3」



映画の黄金期を支えた巨匠木下恵介。その仕事はあまりにも広く高く、語るには長い時間が必要となる。そこで始まった、木下映画を愛するふたりの作家が毎年木下作品を上映して語るこのプログラム。本年は新人監督・川尻将由(『ある日本の絵描き少年』)が聞き手として登場し、映画のコツを掴む。上映作品は異色作『日本の悲劇』に決定! 乞うご期待!

原恵一 映画監督 × 橋口亮輔 映画監督

9/21[土] 17:00～ 小ホール **特別先行上映**
第72回カンヌ映画祭 批評家週間正式出品

『典座 -TENZO-』
2019年/日本/カラー/62分 ※英語字幕付
監督:富田克也

全国曹洞宗青年会からの依頼でスタートしたプロジェクトは、3.11以降の仏教の意義を紐解く作品となった。上映後は富田克也監督を迎えて、トークを行います。
©全国曹洞宗青年会

7 追悼・吉武美知子
プロデューサー
～フランスと日本を繋ぎ続けた人～

6月14日に急逝した、フランス在住の吉武美知子プロデューサーの作品を緊急上映。作品上映後に監督やプロデューサーからお話を伺います。

9/8[日]13:30～ 小ホール

堀越謙三
プロデューサー
(ユロススペース・ユーロライブ)

『TOKYO!』 ※オムニバス作品
2008年/フランス、日本、韓国、ドイツ/カラー/110分
監督:ミシェル・ゴンドリー、レオ・カラックス、ポン・ジュノ
©2008 TOKYO!

9/14[土] 17:00～ 小ホール

黒沢 清
映画監督

『ダゲレオタイプの女』
2016年/フランス、ベルギー、日本/カラー/131分
監督:黒沢 清
©2017-Film-in-Evolution-Les Productions Balhazar-frakas Productions-LEDLPA Japan Film Partners-ARTE France Cinema

9/15[日] 17:30～ 小ホール

諏訪敦彦
映画監督

『ライオンは今夜死ぬ』
2017年/フランス、日本/カラー/103分
監督:諏訪敦彦
©2017-FILM-IN-EVOLUTION-LES PRODUCTIONS BALHAZAR-BITTERS END

第41回ぴあフィルムフェスティバル タイムテーブル

上映がスタートすると、当日会場窓口のチケット販売は終了します。

*日ごとに上映開始時間が異なりますので、ご注意ください。*開場時間は、上映時間の15分前です。
*ギョウを得ない事情により、プログラムおよび来場ゲストが予告なく変更になる場合もございます。ご了承ください。

検索

9.7 [土]	小ホール	11:00～ PFFアワード2019 『くじらの湯』 『アボカドの固さ』	14:30～ 凄すぎる人たち(カッコいい女編) 日本初上映 『おみおくり ~Sending Off~』 ゲスト:イアン・トーマス・アッシュ監督、今田かおる医師	18:00～ PFFアワード2019 『温泉旅行記(霧島・黒川・嬉野)』 『スーパー・ミキンコリニスタ』
8 [日]	小ホール	10:30～ PFFアワード2019 『自転車は秋の底』 『東京少女』『ワンダラー』	14:15～ PFFアワード2019 『何度でも忘れよう』 『ビューティフル、グッバイ』	16:30～ 巨匠たちのファーストステップ Part4 『息もできない』 ゲスト:ヤン・イクチュン監督
9 [月]		月曜 休館日		
10 [火]		12:30～ PFFアワード2019 『散歩する植物』 『おぼけ』	16:00～ PFFアワード2019 『めぐみ』 『OLD DAYS』	19:00～ 凄すぎる人たち(諦めない男編) 『恐怖の報酬(オリジナル完全版)』 ゲスト:岡村尚人、長谷川英行
11 [水]	長瀬記念ホール OZU	12:30～ PFFアワード2019 『泥濘む』『フォルナーリヤの聖泉』 『きえてたまるか』	16:00～ PFFアワード2019 『雨のやむとき』 『そんなこと考えるの馬鹿』	19:00～ ブラック&ブラック ~映画と音楽~ 『真夏の夜のジャズ』 ゲスト:ピーター・バラカン
12 [木]		12:30～ PFFアワード2019 『温泉旅行記(霧島・黒川・嬉野)』 『スーパー・ミキンコリニスタ』	16:00～ PFFアワード2019 『自転車は秋の底』 『東京少女』『ワンダラー』	19:00～ 巨匠たちのファーストステップ Part4 『メランコリーの妙薬』 日本初上映
13 [金]		12:30～ PFFアワード2019 『何度でも忘れよう』 『ビューティフル、グッバイ』	16:00～ PFFアワード2019 『くじらの湯』 『アボカドの固さ』	19:00～ 凄すぎる人たち(諦めない男編) 『変態村』
14 [土]	小ホール	11:00～ PFFアワード2019 『雨のやむとき』 『そんなこと考えるの馬鹿』	13:30～ 劇場版 特別先行上映 『ガンダム GのレコンギスタI』 ゲスト:富野由悠季総監督	17:45～ PFFアワード2019 『散歩する植物』 『おぼけ』
15 [日]	小ホール	12:00～ 凄すぎる人たち(カッコいい女編) 『昔々パイルートで』	14:30～ 巨匠たちのファーストステップ Part4 『一瞬の夢』	17:00～ 追悼・吉武美知子プロデューサー 『ダゲレオタイプの女』 ゲスト:黒沢 清監督
16 [月・祝]		月曜 休館日		
17 [火]		14:00～ 巨匠たちのファーストステップ Part4 『死刑台のエレベーター』	16:30～ 巨匠たちのファーストステップ Part4 『ローラ』	19:00～ 巨匠たちのファーストステップ Part4 『フルーツパベル駅で』
18 [水]	長瀬記念ホール OZU	14:00～ 凄すぎる人たち(カッコいい女編) 『昔々パイルートで』	16:30～ 凄すぎる人たち(カッコいい女編) 『シューティング・マフィア』 日本初上映	19:00～ 巨匠たちのファーストステップ Part4 『ボーイ・ミーツ・ガール』
19 [木]		13:30～ 凄すぎる人たち(諦めない男編) 『東京裁判』 ※途中休憩あり		19:00～ 凄すぎる人たち(諦めない男編) 『殺しが静かにやって来る』
20 [金]		PFFアワード2019表彰式 ※チケットの発売はありません。		
21 [土]	小ホール	11:45～ 巨匠たちのファーストステップ Part4 『メランコリーの妙薬』 日本初上映	14:15～ PFFアワード2019 受賞作品上映① (準グランプリ作品含む)	17:45～ PFFアワード2019 受賞作品上映② (グランプリ作品含む)
	小ホール	11:00～ カンヌ映画祭批評家週間って何? プログラム① 日本初上映	13:30～ カンヌ映画祭批評家週間って何? プログラム②+ゲストトーク ゲスト:レオ・ソエサント 日本初上映	17:00～ カンヌ映画祭批評家週間って何? 『典座 -TENZO-』 ゲスト:富田克也監督 特別先行上映